

かもきっず

ばら組

第5号
令和3年9月30日
京都市立上賀茂幼稚園
園長 下村 貞之

長い夏休みが終わり、2学期が始まりました。友達と一緒に体を動かしながらいっぱい遊びました。

フープ遊び

腰回しをしたり、転がしたりと、様々な遊び方を試しながら遊びました。ある日のことです。「長く転がっていくフープに自分が入ってくぐれるか！」に挑戦しました。早速、子どもたちは私が転がすフープをくぐろうと挑戦しました。早く入りたい一心でスタート地点で待ち受けてみる姿、フープに入るタイミングを見計らって待つ位置を考え真剣にねらっている姿…子どもたちなりに「どうすればできるか」と、考える姿が伺えました。フープに入れるところまでいくけれど、体が当たってくぐりきれないことが多かったのですが、何度も挑戦しました。その中で、できると、できたことに驚いて、嬉しさが後からこみあげてきました。そんな友達の姿を見て、また新たに“やってみたいくなる気持ち”が沸き上がりチャレンジは続きました。

ゆり組さんのかけっこ

ある日、ゆり組さんがかけっこをするところを見せてもらいました。この時まで、ばら組さんはかけっこをしたこと�이ありませんでした。ゆり組さんは3人ずつ並んで、ゴールの先生の所まで走り切り、またスタートに並び何度もかけっこをしていました。そんなゆり組さんの姿を見て、ばら組さんは、「○○ちゃん頑張れ！」「早いなー」「すごいなー」などと手を叩いて応援しています。「ばら組さんもしたいなー」「やりたいな」応援しているとフツフツと“やってみたい”気持ちができてきました。「じゃあ、ばら組さんもやってみよう」と、声をかけると、スタートラインに向かいます。3人組をつくって…順番に並んで…スタートラインに立って…見ていたことがすぐ行動と形になって表っていました。トラックのカーブも難しいところですが、気持ちよく走る姿が見られていました。

9月は、いろいろな用具も使い、いろいろなことを試しながら遊びました。ぶら下がっているものを目標にジャンプ大会をしてみたり、一人一つのボールをつくり、蹴ったり、投げたりキャッチしたり、思い思いに試して遊んだりしました。

その中で子どもたちの“やってみたい”気持ちがたくさん見られました。やったことがないことも、知らなかったことも、遊んでいる中で知ったり、友達がしていたことを見て、刺激を受けたりしながら、遊びの経験の幅が広がっていくのだなと思います。今回、かけっこを見た後の子どもたちの行動は、“やってみたい”的気持ちがあふれ出ているようでした。改めて心が動くことは大事なことだなと思いました。

生活の中でたくさんの遊びに出会い、興味関心を広げたり、深めたりしてほしいなと思います。子どもたちの楽しい気持ちや頑張っている気持ち、心を動かしている姿に寄り添いながら関わっていきたいと思います。

(フープ) 転がったよー！



もう一回やりたい！

一緒に走ろう！



友達と一緒によーいどん！
「頑張れー！」
自然と応援が始まります！